

中学年代における GK コーチの必要性

草壁 寛（競技スポーツ学科 コーチングコース）

指導教員 松田 保

キーワード：中学年代 GK コーチ 必要性

1. 緒言

現代サッカーでは、海外で活躍する日本人選手が増えてきている。活躍している日本人を挙げると、香川真司、長友佑都、内田篤人、本田圭佑などの有名な選手が世界で活躍しており、他にも多数の選手が活躍している中で、ゴールキーパー（以下 GK と記す）は、川島永嗣 1 人だけである。多数の日本人が活躍する中で、有名な日本人 GK は 1 人である。ビッグクラブで活躍する GK と何が違うのだろうか。この背景には、育成年代からの GK コーチによる専門的な指導が行われていることが、世界で活躍する GK を輩出していると考えられる。

GK は、自陣のペナルティエリア内で横 7.32 m、高さ 2.44m のゴールを守るために唯一手でボールを扱うことが許されているポジションで、相手のシュートやパスなどの攻撃を食い止める、ゴールを守ることが大きな役割である。しかし、近年の GK には、1992 年の競技規則変更により、味方からの故意による GK へのパスを GK が自陣ペナルティエリア内で手を使ってボールを処理することが禁止され、フィールドプレーヤー（以下 FP と記す）同様に足元の技術（ボールを止める、蹴る）が求められるようになり、スピーディーなゲーム展開が増えてきており、GK には新たな技術を要求した画期的な変更であったと思われる。

日本で育成年代の GK の指導が普及されて

きたのが近年のことであり、特定のチームにだけでなく、GK コーチによる専門的な指導が身近に行われるようになったが、まだ世界で活躍する GK が輩出されていないとも考えられる。

2. 研究方法

同じ条件で基礎技術テストを行う。基礎技術テストは、主にキャッチングの成功回数を比較する。他にキャッチングまでの準備や基本姿勢の観察も行う。

3. 結果と考察

キャッチングの成功回数では変わらなかったが、GK コーチが関与するかしないかで、基本、基礎が身につくかに関係し、習得できていない場合、成長に大きく影響を与えると考える。

4. 結論

中学年代から本格的に GK の練習をやり始めるため、GK コーチが専門的に指導することによって、変わった癖が身につくことなく、正しい基礎、基本が身につく、育成年代である中学年代で基礎、基本を身につけることによって今後の成長に大きく関係する。

【引用参考文献】

- 1) 松元裕也（2010）ゴールキーパーコーチの必要性に関する研究 - 主に中学、高校年代について -
- 2) 柳楽雅幸 編著（2001）J リーグをめざす！ゴールキーパー 池田書店 P10, P14